

WordPress ユーザーのための PHP 入門 はじめから、ていねいに。

お詫びと訂正のお知らせ

『WordPress ユーザーのための PHP 入門 はじめから、ていねいに。』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本書の P075 に掲載している解説内容に誤りがございました。
下記に誤りのある箇所につきましてご案内させていただきます。

● P075

【誤りの箇所（赤で示しています）】

```
$tax->set_date(20140411);  
echo $tax->return_tax();
```

「->」はアロー演算子

1行目は、\$tax オブジェクトの `set_date()` メソッドを引数「20140411」を指定して呼び出しています。



【正しい内容】

```
$tax->date = date('Ymd');  
echo $tax->return_tax();
```

「->」はアロー演算子

1行目は、\$tax オブジェクトのプロパティに `date()` 関数で取得した今日の日付を格納しています。

コードの1行目にある「`$tax->set_date(20140411);`」は、「`$tax->date = date('Ymd');`」が正しい記述です。この行では \$tax オブジェクトの `date` プロパティに `date()` 関数で取得した実行日の日付を格納しています。

なお、本 PDF の次ページに正しい状態のページを掲載させていただきます。
このたびはご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

```
$tax->date = date('Ymd');
```

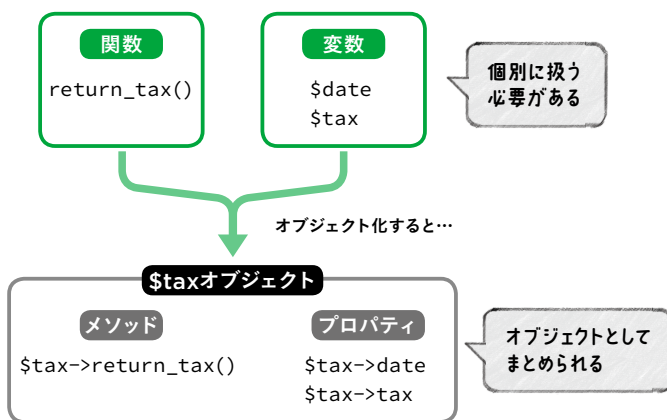
「->」はアロー演算子

```
echo $tax->return_tax();
```

1行目は、\$taxオブジェクトのプロパティにdate()関数で取得した今日の日付を格納しています。

「->」はアロー演算子と呼ばれるもので、「-」「>」をつなげて書きます。オブジェクトのメソッドやプロパティを参照するときに使用する演算子で、WordPressでオブジェクトを扱うときによく使うので覚えておきましょう。

2行目でreturn_tax()メソッドの実行結果をechoで出力することで、適切な消費税率を表示しています。このように変数、関数をバラバラに使用する場合と違い、オブジェクトを利用すると関連する変数・関数をまとめて扱えます。



🚫 オブジェクトからデータを取り出す

WordPressでテーマを作成する際、自分でクラスを定義して利用することはほとんどありません。WordPressの関数を利用して投稿データを取得する際に、戻り値がオブジェクトとして返ってくるものがあるので、そのオブジェクトからデータを取り出して表示するというのが基本的な使い方となります。P.045「WordPressでの配列の使用例」で、戻り値が配列の場合に値を取り出す方法について触れましたが、オブジェクトの場合は少しコードが違いますので注意しましょう。

たとえば、投稿IDを指定して投稿データを取得する場合は、get_post()という関数を利用します。get_post()を実行して返ってくるのが、WP_Postクラスのオブジェクトです。

たとえば、

```
$postdata = get_post( 3 );
```

投稿IDを指定して
投稿データを取得

とすると、\$postdataに投稿ID「3」の投稿データが、WP_Postクラスのオブジェ

📌 MEMO

「プロパティ」は、「メンバー変数」、「属性」、「フィールド」といった呼び方をすることもありますが。本書では「プロパティ」と表現します。

1

2

3

4

07

オブジェクトとは